

ソフトバンクグループ主導で、インドの不動産サイト 「ハウジングドットコム」へ総額9千万米ドルを出資

SoftBank Internet and Media, Inc. (CEO: ニケシュ・アローラ、以下「SIMI」) と Locon Solutions Pvt. Ltd. (所在地: インドムンバイ、共同創業者兼CEO: ラフル・ヤーダブ、以下、通称「ハウジングドットコム」) は、ハウジングドットコムに対し、ソフトバンクグループ主導で、Falcon Edge などの既存株主とあわせて総額9千万米ドル(約106億円*)の出資を行うことを正式合意しました。本出資により、ソフトバンクグループが同社の筆頭株主になる予定です。ハウジングドットコムは、今回の取引を含めて、これまでの2年間で総額1億2,100万米ドル(約143億円*)以上の資金調達を行ったこととなります。

ハウジングドットコムは、今回調達した資金を、インド国内300都市の4千万件以上の物件数を掲載するマップの制作や、物件所有者や代理店事業者が売り出し可能な物件を速やかに同社のサイトで公開できる仕組みの構築などに利用する予定です。

ハウジングドットコムの共同創業者であるアドヴィティヤ・シャルマは、以下のように述べています。

「われわれは創業時より、物件探しに数カ月もかけて奮闘している数百万人もの人々が、必要条件と完璧に合致した物件を見つけられるよう手助けするという大きなビジョンを掲げており、利用者に最高の物件探しを体験いただくためのサイト構築に、重点的に取り組んでいます。これまで素晴らしい投資家のパートナーに出会えたことを幸運に思うとともに、社員一同、ソフトバンクとともにビジョンを実現することを楽しみにしています」

このたびのパートナーシップを通じて、ソフトバンクグループは、インドのデジタルインフラへのさらなる出資を目指し、インドおよび世界中のグループ内のインターネット企業群とのシナジーをさらに強化していきます。

ソフトバンク株式会社のバイスチェアマンおよびSIMIのCEOであるニケシュ・アローラは、以下のように述べています。

「われわれはインドのITの未来と、ITが人々の生活をより良くしていく可能性を大いに信じています。ハウジングドットコムは、最高の不動産サイトの構築について、また利用者の物件検索や取引に何が重要なのかということについて、素晴らしいビジョンと高い見識を持っています。われわれは同社と連携し、同社の成長をサポートすることを楽しみにしています」

先日ハウジングドットコムは、世界で初めてインタラクティブに物件が予約できるプラットフォーム「Slice View™」を提供開始し、3都市の4つの建設予定物件でキャンペーンを実施しました。本キャンペーンの5日間で、「Slice View™」を通じて半分以上の物件が販売され、総市場価値にして合計50クロール（約9億4千万円）規模の売上を達成しました。この過去最大規模の成功を受け、数多くの不動産業者から同様のキャンペーンの申し込みがありました。

ソフトバンクの法律顧問は Morrison & Foerster LLP および AZB & Partners、財務アドバイザーは Raine Group LLC です。ハウジングドットコムの法律顧問は Krishnamurthy and Company、財務アドバイザーは Avendus です。

※1 1米ドル=118円で換算した場合。

ハウジングドットコム (Locon Solutions Pvt. Ltd.) について

ハウジングドットコムは、2012年の創業以来、最先端のIT技術の活用により、他にはない物件探しの体験を利用者に提供することで、インドのオンライン不動産業界を劇的に変化させてきました。ハウジングドットコムには、信頼性の高い物件が解像度の高い写真とともに地図と連動して掲載され、100以上の項目から検索することができます。ハウジングドットコムはインド国内の45都市以上で営業されており、同社が保有する35万件以上の信頼性の高い物件数および1万5千件以上の建設予定物件数は、業界最大規模を誇ります。ハウジングドットコムは、今回の取引を含めて、これまでに総額1億2,100万米ドル（約143億円※）以上の資金調達を行ったこととなります。同社には、45都市以上に1,500人以上の従業員がいます。詳細は以下をご覧ください。

<https://housing.com/in>